

## こどもみらい館 第三期研究プロジェクト発足

保育園(所)・幼稚園，私立・市立・国立の垣根を越えた「共同機構」として，保育内容の更なる充実・発展や子育て支援を目指し，平成24年10月に「子どもの育ちの連続性」に関する研究プロジェクトと「子育て支援」に関する研究プロジェクトが発足しました。

### 子どもの育ちの連続性研究プロジェクト

#### 1 目的

小学校との連携や交流等から保育を振り返り，就学前の子どもたちが小学校への憧れの気持ちを持ち，自信や自己肯定感を持って就学していくためには就学前施設(保育園(所)・幼稚園)において何を大切にしていける必要があるのか，また，保育の質と子どもの連続した育ちについて考え「心の育ち」を大切にしたい保幼小連携につなげます。

#### 2 研究方法と研究グループ・研究メンバー

- (1) 研究方法1 保幼小連携に関する研究を進めます。

##### 研究グループ

京都市御池保育所・京都市立中京もえぎ幼稚園・京都市立高倉小学校

- (2) 研究方法2 「心の育ち」に目を向けたエピソード検討を基に保育の質の向上について考察します。

##### 研究メンバー8名(敬称略)

小林 昭雄(共栄保育園)・藤田 美華(大受保育園)・岩井 京子(自然幼稚園)・坂東 祐子(光華幼稚園)・塚本 真弓(京都市鏡山保育所)・中島 真野(京都市崇仁保育所)・佐藤 菜々子(京都市立明德幼稚園)・廣内 厚士(京都市立上賀茂幼稚園)

### 子育て支援研究プロジェクト

#### 1 目的

さまざまな機能を持つ子育て支援施設の視察，関係機関職員との意見交換等を通し，なぜ，就学前施設(保育園(所)・幼稚園)が子育て支援事業をしなければならないのかということや「子育て支援担当者」の視点と「保護者」の視点から検証し，子育て支援事業の意義やあり方を考察します。

#### 2 研究方法と研究メンバー

子育て支援施設の見学や視察などを実施し，関係機関職員との意見交換の場を設け，子育て支援について考察していきます。

##### 研究メンバー10名(敬称略)

佐々木 みほ(ゆりかご保育園)・高島 伊代子(稲荷保育園)・藤田 亜希(安井幼稚園)・松本 博美(泉山幼稚園)・山本 絹子(同志社幼稚園)・伊藤 文(京都市聚楽保育所)・小寺 玉枝(京都市船岡乳児保育所)・村上 ちひろ(京都市立伏見南浜幼稚園)・森 希美子(京都市立伏見住吉幼稚園)・池上 孝子(京都市保健福祉局子育て支援部保育課)

「子どもの育ちの連続性」「子育て支援」の2つの研究プロジェクトは10月に第1回会合を持ち，自己紹介や情報交換から研究を始めています。こどもみらい館では，平成24年10月から平成27年3月までの2年6箇月をかけて研究を進めていきます。最終年度には「報告会」を開催するとともに，「報告書」を作成して研究の成果を広く発信していきます。

京都市保育園連盟共催

# 表現から見る心の育ちと保育のあり方

講師 藪田 一子 大阪成蹊短期大学教授

大阪成蹊学園 理事。大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園 園長。大阪成蹊短期大学 児童教育学科学科長。大阪幼児造形教育研究会会長。日本保育学会会員。全国教育美術、全大阪幼少年美術展、日本子ども絵画コンクール、「水とみどりのまち」絵画コンクール等の審査員、美術教育・表現全国大会等の指導者。大阪市東淀川区社会福祉協議会子育て支援スーパーバイザー 他

やはり造形の「躰」はいるのではないかと思うのです。「筆の持ち方も子どもの自由ではないのでしょうか」と言われるのですが、子どもの創造活動を自由にさせるのには正しい持ち方を知らなければ、子どもはいつまで経っても自由になれないと思うのです。では“自由”をどのように考えるのかということで、造形教育の基本を箇条書きにしてみました。

造形教育の基本について

1. 心の到着
2. 造形活動のしつけ
3. 子どもの主体性と保育者の主体性
4. 生き生きとした心情を養う造形活動〔心・頭・手の三位一体〕
5. 「遊び」を育む安心感と自由感
6. 心の通いの中に育つ「遊び」
7. 「遊び」としての造形表現の実践の課程
8. 造形表現への自然発生的な動機
9. 指導の基本の確立
10. 発達や学びの連続性を踏まえた小学校の教育との円滑な接続

子どもたちに一番大事なものは集中力を持つことだと考えます。絵を描くということは、1枚の真っ白な画用紙に一人でこつこつと自分の考えをつないでいく作業であり、子どもの心の成長にとって欠かすことのできないものだと思うからです。小さい時にエネルギーを出しきる経験の繰り返しは、「一生懸命だった」という経験を身体に染み込ませるととても大事なことです。

<参加者のアンケートより>

「造形だけでなく保育において大切な考え方、あり方を学びました」「話を聞いてとても分かりやすかったです。今日聞いたことを頭に入れて、子どもたちと絵を描いてみたいくなりました」という感想がありました。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています。貸出要項へ  
講義の詳細は、要録ページをご覧ください。要録ページ

京都市保育園連盟共催

# 子どもの遊び、心、そして絵本 — 絵本で子育て心育て —

講師 今関 信子 児童文学作家

東京保育女子学院卒業後、幼稚園教諭として、7年間勤務した後、創作活動に入る。古田足日氏に師事。現在は創作活動をする一方で、子どもや大人達に子どもの本の世界について講演活動も行う。手作り紙芝居の講師として、創作活動の指導にも当たる。日本児童文学者協会理事、日本子どもの本研究会会員、子どもの文化研究所所員。御著書に、「げんきにおよげ こいのぼり」「ぎんのなみおどる」「永遠に捨てない服がきたい」他 多数。

子どもを育てる時、私たちはいろんな声をかけていきます。お母さんは、お腹にいるときから声をかけているのではないのでしょうか。子どもは外に出て来た時に「この声聞いたことがある」と思うかもしれません。新しく出会った保育者のことも、安心して迎えてくれる人の声にも“この人好きだ”“この声好きだ”というように信頼をおいて育てていくのではないのでしょうか。話しかけ、語りかけ、いろんなことを具体的にしていく直接活動と同時に、間接活動になると思うのですが、応用していく力や、想像力が力を発揮する「本」も育ちに大切な力を出すと私は思っています。

本の楽しさを知っている子は人生の楽しみのひとつを手に入れたようなものなのです。江戸時代の中のある少年になって遊ぶこともできるし、外国に行くこともできるし、未来に行くこともできる、時間も場所も自由に越えていろんな体験を自由にすることができるのです。本はそういう力を持っているので、本の世界を子どもたちに楽しんでもらうことは本当に大事なことなのではないかと私は思っています。どうぞ子どもたちに本を手渡してあげてください。

<参加者のアンケートより>

「自分の心も太らせながら、子どもたちにも楽しい絵本の世界を伝えていきたいと思います」「何度でも間違ったらいい。遠回りしたらいい。考える力をつける。など絵本って素敵です」という感想がありました。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています。貸出要項へ  
講義の詳細は、要録ページをご覧ください。要録ページ

# 在園や地域の子育て支援のあり方

講師 寺見 陽子 神戸松蔭女子学院大学大学院教授

神戸松蔭女子学院大学大学院・人間科学部子ども発達学科教授。兵庫教育大学・神戸学院大学非常勤講師。学校心理士・臨床発達心理士・上級教育カウンセラー。専門分野は、乳幼児発達心理学、乳幼児保育学、保育カウンセリング（保護者支援・子育て支援）。研究領域は、母親の育児ストレスとソーシャルサポート（子育て支援）。子どもの自我形成と保育者・養育者（親）のかかわり、養育者・保育者のアイデンティティの形成。保育者の子ども理解と援助。著書に「保育相談支援」（共著）、「相談援助」（共著）、「子育て・子育て支援学」（編著）等。

親の役割は、包み込むこと、ある程度子どもに葛藤を与えること、切り離すこと、これをうまく調節していくことです。親の役割を求められているのに、意識的にはその役割ができない、生活上でいえば、周りが思っていることと自分が思っていることとのズレがある時、それはストレスになり、子育ての不安になります。そのズレを調整していく場が、育児サロン等です。他の親や子ども、先生と出会う中で、自分自身がどうしようとしているのか自覚する場や自分を見つめる場としての意味を大切にしてください。支援の基本は、ウェルビーイングを高めていくこと、「I am OK」の気持ちになれるかどうかの視点で考えていくことです。課題そのものが解決しなかったとしても、そのことが気にならなくなり、明日に向かうことができればいいと思います。そのためには、地域のネットワークを作っていくことが大事です。顔の見える関係、手作りをつむぎ合っていく、そこに子育て支援ネットワークの意味があります。組織ではなく、必要な時に必要な人が結びつくのがネットワークです。

専門性を生かした保護者理解と対応を考えると、計画的で見通しのある支援が大切です。それを、保護者それぞれに合わせたよりよい支援にしていくのは、支援者の人間力が大事になります。

＜参加者のアンケートより＞

「支援者としてどうあるべきかを漠然と捉えていたことを明確に言語化していただき納得できました」「地域の支援のあり方について考える視点を変えてみようと思いました」などの感想がありました。

この講演会のビデオ・DVDを貸出しています。[貸出要項へ](#)  
講義の詳細は、[要録ページ](#)をご覧ください。

## 共同機構研修会案内

こどもらい館 共同機構研修会  
京都市教育委員会保・幼・小・中連携推進事業

## 合同研究会

日時 平成25年1月28日(月) 15時～17時

場所 京都市総合教育センター 第1研修室

- 内容
1. 榎原中学校区における保幼小中連携 吹奏楽を活かした保幼小中連携推進
    - (1) 内容 保幼小中連携を信頼関係のある実質的な連携に発展させていく中で、榎原中学校区の教育課題を明らかにし、校区の教育機関がその教育課題を共有し、課題解決に向け協働で取組を進め、「文化の薫り漂う基地榎原」を目指します。
    - (2) 発表者 京都市立榎原中学校 校長 土田 浩
  2. 豊かな心と学びを育てる学校図書館～読書センター、学習・情報センターとして～
    - (1) 内容 小学校での読書・図書館活用教育を中心に、学校の現状及び機能する図書館に向けての取組を通して、保育園(所)・幼稚園から小学校、小学校から中学校への繋がりについてお話しします。
    - (2) 講師 公益社団法人 全国学校図書館協議会 学校図書館活動推進委員 向井 純子

案内状発送は12月下旬予定です。

## 第13回「みらいっこまつり」

えがおでげんき★みんななかよし



日時：平成24年12月14日（金），15日（土）  
10：00～16：00  
場所：京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

京都市保育園連盟「エアマットであそぼう」，京都市私立幼稚園協会「みらいっこわくわくコンサート」，京都市保育士会「わくわくステージ・みんなあつまれ」，京都市営保育所長会「赤ちゃんふれあいコーナー」，京都市立幼稚園長会「クリスマスの飾りを作ろう」，京都子育てネットワーク「あかちゃんあそびましょ〜♪」，地域の自治連合会による「お茶席体験」をはじめ，劇，オルゴール，コンサートなどたくさんのイベントが予定されています。また，缶バッジ作り，おもちゃの病院，絵本リサイクル等も行います。保育園（所）・幼稚園の保護者の方にご紹介いただくとともに，先生方も，ぜひとも一度遊びに来てください。

なお，13日（木）～15（土）の3日間は，みらいっこまつり開催とその準備のため，開館時間が午前9時から午後5時までとなります。ご注意ください。

## 第13回 みらいっこまつり

-えがおで げんき★みんな なかよし-

**日時** 平成24年12月14日（金），15日（土）

※イベント10時～16時（開館9時～17時）

**対象**：乳幼児とその家族

**場所**：京都市子育て支援総合センター **こどもみらい館**

京都市中京区間之町通竹屋町下る 西075-254-5001  
地下鉄「丸太町駅」5番出口 市バス「角丸丸太町」下車  
駐車場は混雑が予想されますので公共交通機関等を利用ください。

**無料**  
（一部特典は別途ありませう）

**エアマットであそぼう**  
14日（金）・15日（土）

**缶バッジづくり!**  
14日（金）  
15日（土）

**クリスマスの飾りを作ろう!**  
15日（土）

**コンサートもあるよ**  
聞いて歌って踊って!  
14日（金）・15日（土）

**絵本のリサイクル**  
ほん絵本がいっぱい  
14日（金）・15日（土）

他にも楽しいイベントがいっぱい!

あかちゃんも遊びに来てね  
あかちゃんあそびましょ〜♪  
あかちゃんのふれあいコーナー 14日（金）

館長のすくすくQ&A 15日（土）  
子育ての悩みを何でも聞いてあげよう

こどもみらい館は13さいになるよ

おめでとう!!

詳しくは チラシまたはこどもみらい館ホームページを見てね!  
<http://www.kodomomirai.or.jp/>

みらいっこまつり実行委員会  
京都市私立幼稚園協会・京都市立幼稚園長会  
京都市保育園連盟・京都市営保育所長会  
京都子育てネットワーク・こどもみらい館  
協力/こどもみらい館子育て支援ボランティアのみなさん  
竹間自治連合会

子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。  
（「子どもを共に育む京都市民憲章」から一部抜粋）

子どもを育む喜びを感じ、  
親も育ち学べる取組を  
進めます。  
（「子どもを共に育む  
京都市民憲章」より）



発行日 平成24年11月15日  
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
〒604-0883  
中京区間之町通竹屋町下る楠町601番地の1  
Tel (075)254-5001 Fax(075)212-9909  
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>